

各関係機関の長
各病虫害防除員 殿

宮崎県病虫害防除・肥料検査センター所長

平成26年度病虫害防除情報第7号

県北部を中心にいもち病が急激に増えています。
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

県内各地でいもち病の発生が確認されています。 穂いもちを対象に適期防除を行いましょ。

- 1 作物名 普通期水稻
- 2 病虫害名 いもち病（穂いもち）

3 発生状況

- (1) 7月中旬の巡回調査において、葉いもちの発生は平年並であったが、その後の7月下旬の巡回調査では、発生面積率が42.5%（平年34.7%）、発病株率が14.3%（平年9.9%）でいずれも平年に比べて多の発生となっている。特に県北部を中心に短期間に病勢が進展しており、発病株率100%のほ場もみられる（表1、図1、2）。
- (2) アメダスデータを利用したいもち病発生予察システム（BLASTAM）によると、7月上～中旬に県北部を中心に感染好適日が複数回出現している（表2 <http://www.jpnpn.ne.jp/miyazaki/800/300/suitou/h26/blastam201407.htm> を参照）。
- (3) 向こう1か月の天候は、気温が平年よりも高い確率が40%と予想されているが、平年よりも晴れの日が少なく、降水量は平年よりも多い確率が50%と予想されている。病勢の進展に好適であることから、注意が必要である（鹿児島地方気象台7月31日発表1か月予報）。

表1 7月下旬の巡回調査における葉いもちの発生状況（普通期水稻）

区分	調査地点数	程度別発生面積率(%)				発生面積率(%)	発病度	発病株率(%)
		甚	多	中	少			
全県	40	0	0	5.0	37.5	42.5 (34.7)	3.9 (5.3)	14.3 (9.9) < 0-100 >
東諸県	4	0	0	0	50.0	50.0 (15.0)	1.8 (0.6)	7.0 (2.4) < 0-16 >
北諸県	10	0	0	0	30.0	30.0 (20.0)	1.0 (0.8)	4.0 (3.2) < 0-20 >
西諸県	8	0	0	0	14.3	14.3 (33.8)	0.1 (1.0)	0.5 (3.8) < 0-4 >
東白杵	10	0	0	20.0	50.0	70.0 (62.3)	10.5 (10.9)	37.6 (31.3) < 0-100 >
西白杵	8	0	0	0	50.0	50.0 (62.5)	4.0 (5.6)	15.5 (20.5) < 0-44 >

※ () 内は平年値 (H16-25)、ただし、西白杵は過去2年間 (H24-H25) の平均値

※ < > 内は最小値と最大値の幅

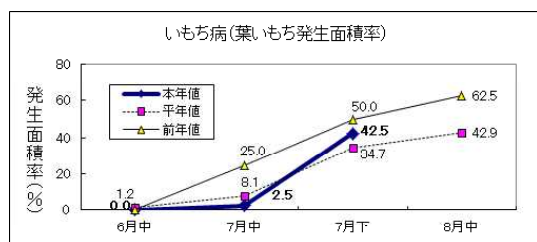


図1 巡回調査における発生面積の推移

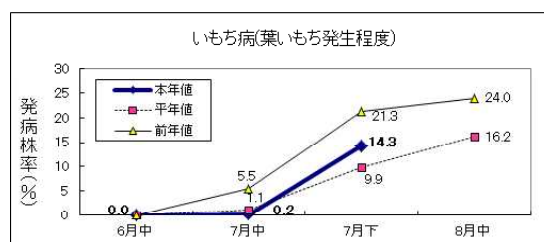


図2 巡回調査における発生程度の推移

表2 7月上～中旬のBLASTAM判定結果

発生指標	?:判定不能		-:好適条件なし			1:準好適条件1			2:準好適条件2			3:準好適条件3			4:準好適条件4			●:好適条件		
	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20
高千穂	?	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-
鞍岡	-	-	-	-	1	-	-	●	-	-	-	?	●	●	-	-	-	-	-	-
古江	-	-	●	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
延岡	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日向	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神門	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-
西米良	-	4	-	-	-	-	-	●	-	-	●	-	-	●	-	-	-	-	2	-
高鍋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
西都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加久藤	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
小林2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
赤江	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
都城	-	-	-	-	-	-	●	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
油津2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
串間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

4 防除上の注意

- (1) 上位葉に葉いもちの病斑が多く見られる場合は、穂いもちの発生が懸念されることから、穂ばらみ期と穂揃い期の基幹防除を徹底する。
- (2) 葉いもちの発生は一時的に高温抑制されるため、葉いもちの被害が軽くても穂いもちが多発する場合がありますので注意する。
- (3) 同一系統の薬剤の連用は薬剤耐性菌の発生を助長することから、作用機構の異なる薬剤をローテーションで使用する。
- (4) 県内の一部地域ではストロビルリン系殺菌剤（以下、QoI 剤）に対する感受性の低下したいもち病菌の発生が確認されているため、QoI 剤の使用は年 1 回にとどめ、感受性の低下を助長しないように注意する。

【その他】

その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

6月1日から8月31日の3か月間、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

《連絡先》

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 斎藤
 TEL:0985-73-6670 Fax:0985-73-2127
 ホームページ: <http://www.jpnpn.ne.jp/miyazaki>
 E-mail: byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp